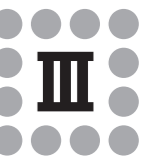


# むらとまち、 地域と世界を 結び直す



津波の被害を受けた三陸の町と隣りの内陸の町、  
原発で避難を強いられる福島県南相馬の町と群馬の村が結び合う。  
そして福島第一原発の受益者である首都圏にも変化が起きてきた。

「これから南相馬を世界の原発克服のメッカにする。風力、水力、バイオマス、太陽光……あらゆるものに可能性を見出し、原発に頼らなくてもいいシステムの開発に全力を傾注する。津波にやられた広大な農地に効果的に除塩対策を施し、穀倉地帯として再生させる。そうした事業に国内外の市民が投資でき、仕事としても参加できると同時に、利益も享受できるシステムづくりに着手したい」(桜井勝延さん・福島県南相馬市長) ©AFP=時事

